


平成28年度 出納室 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
会計管理者 竹原 正朗 	<p>●使命 私たち出納室は、公金の収納・振込・資金運用を適正適確に行い、市民から信頼される事務処理を遂行します。</p> <p>●基本方針 ①正確な会計事務を行います。 ②安全かつ有効な資金運用を図ります。</p>	所管課	出納室		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			4人	人	4人
		一般会計	35,186 千円		
		特別会計	千円		
		計	35,186 千円		
(うち人件費)	(32,336 千円)				

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	正確な会計事務の遂行	<p>正確で適正な事務処理をするため、会計事務担当者への指導強化に努めるとともに、効率的な事務処理方法の研究をします。</p>	<p>事務処理方法の周知徹底を図る。会計事務の説明会の実施及び「会計事務の手引き」「Q&A」の内容を更に充実させます。</p> <p>窓口業務の見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県税のコンビニ収納の実施に伴い出納室窓口での徴収業務を見直します。 ・ 各部署へ配置する出納員との事務分担を見直します。 	<p>会計事務の説明会を7月に実施しました。「会計事務の手引き」「Q&A」の内容を改訂中です。</p> <p>窓口業務の見直しとして、県税の収納業務の来年度から取り扱わない予定です。</p> <p>出納員について、事務分担の見直しのため調査を実施しました。</p>	<p>会計事務の説明会を7月に実施しました。「会計事務の手引き」「Q&A」の内容を改訂しました。</p> <p>窓口業務の見直しとして、出納窓口で県税の収納業務を平成29年度から取り扱わないことになりました。</p> <p>出納員事務分担の見直しとして、出納員等の領収印を改刻して再配置し、郵便局での支払を納付書払から口座振込払に変更して、指定金融機関の事務の簡素化と現金の持ち出しでの支払いを原則取りやめて事務の合理化を進めました。</p>	<p>出納窓口で県税の収納業務を取り扱わないことをHP等で周知しました。</p>
2	有効な資金の運用	<p>市場調査や情報の収集に努めるとともに、安全かつ有効な運用方法を検討します。</p>	<p>市場状況に基づいた有効な資金運用を行います。</p> <p>基金の運用益を運用利回1%として目標に見込みます。</p>	<p>目標の1%の運用益については、すでに目標を達成して、現在3.5%程度となっています。</p>	<p>目標の1%の運用益については、すでに目標を達成して、現在3.6%程度となっています。</p>	<p>運用益は目標(1%)に対して3.54%でした。</p> <p>年度末に基金の計は10,422百万円で、運用益は369百万円でした。</p> <p>(年度当初の基金の計は9,385百万円)</p>